

2020年2月7日（金）
 愛知県農業水産局農政部農業振興課
 野生イノシシ対策室
 経ロワクチン対策第二グループ
 担当 小出、後藤
 内線 5200、5203
 ダイヤルイン 052-954-6725

野生イノシシのCSF（豚熱）検査結果について

愛知県内で1月24日から1月28日までに回収した野生イノシシ7頭について、2月6日にCSF遺伝子検査を実施したところ、本県で117例目となる陽性事例が新城市で確認されました。

なお、検査結果で陽性となった野生イノシシについては下記のとおりです。

記

1 陽性となった野生イノシシの詳細

	回収場所	個体の状況					
		発見日	状況	性別	成子	体長	体重
117例目	新城市 <small>つくでたばら</small> 作手田原	1月25日	捕獲	メス	成体	60cm	25kg

2 CSFに対する対応状況

(1) 県内の養豚農場に対する措置

今回の事例の周知とともに、農場に出入りする人及び車両に対する消毒の徹底や野生イノシシの侵入防止の徹底を指導します。

なお、県内の全ての養豚農場は、CSFワクチン接種を行っているため、立入検査等は実施しません。

(2) 野生イノシシへのCSF経ロワクチン散布

2019年3月から行っている野生イノシシへのCSF経ロワクチン散布を今後も計画的に実施していきます。

3 その他

(1) 野生イノシシを対象としたCSF検査の実施について

県内全域において、死亡*または捕獲された野生イノシシの検査を実施しています。

(2) 検査結果の公表について

野生イノシシのCSF検査結果については、以下の愛知県農業振興課Webページにて公表しています。

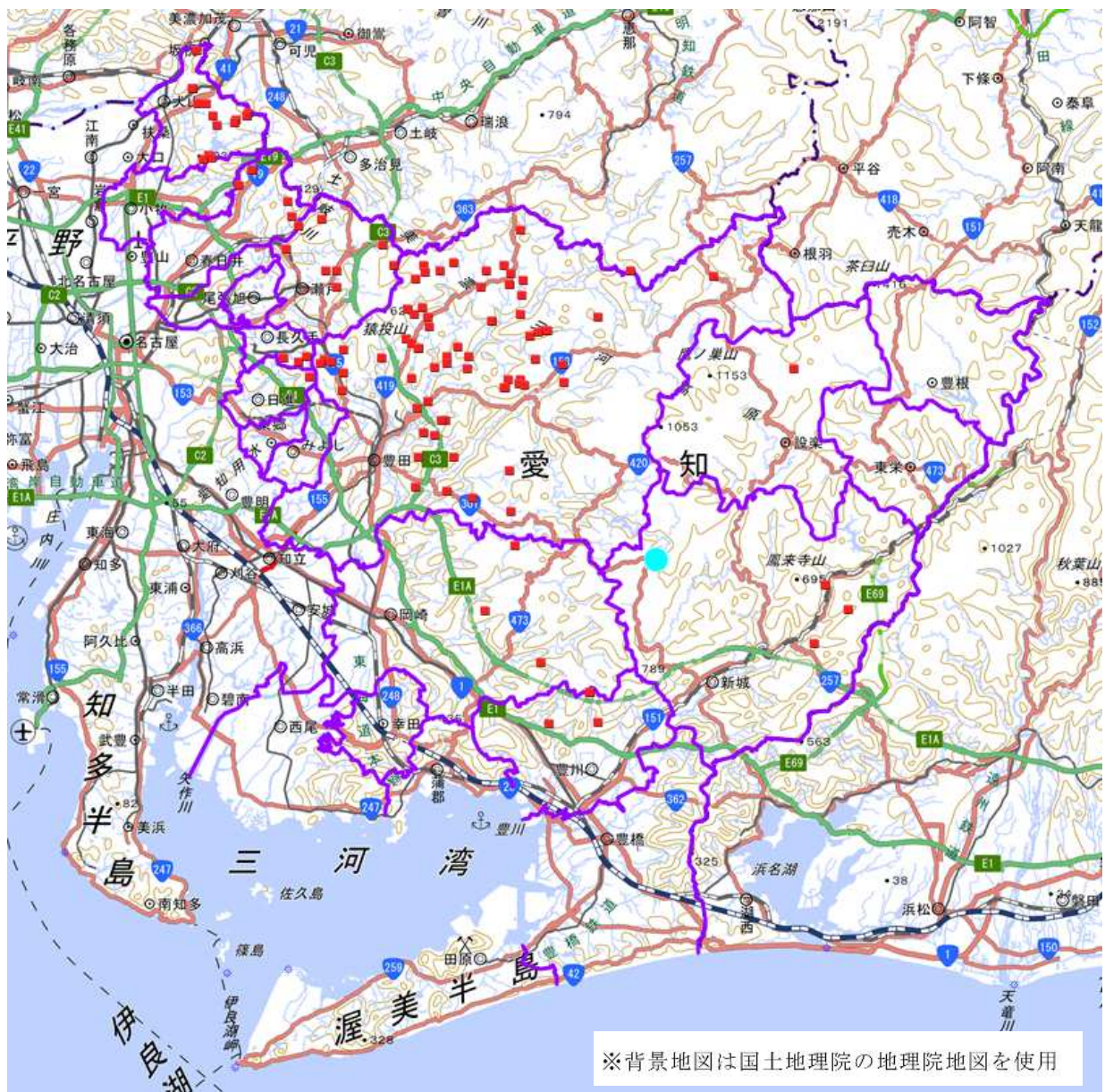
URL : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kensa.html>

*市町村または旧市町村単位で、当該地域の全域が陽性イノシシの確認された地点から半径10kmに含まれる地域で確認された死亡イノシシを除く。

4 今回の野生イノシシの回収位置図

● : 117例目（2月6日検査）の野生イノシシの回収場所

■ : 116例目までの野生イノシシの回収場所



- CSFは、豚、イノシシの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚や感染イノシシの肉が市場に出回ることはありません。
- 現場での取材は、CSFのまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。